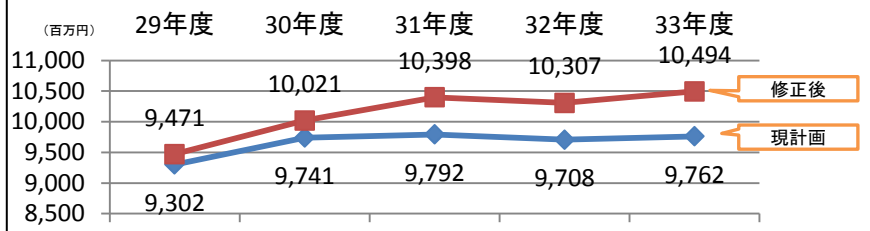


市立旭川病院 収支計画見直し説明資料①

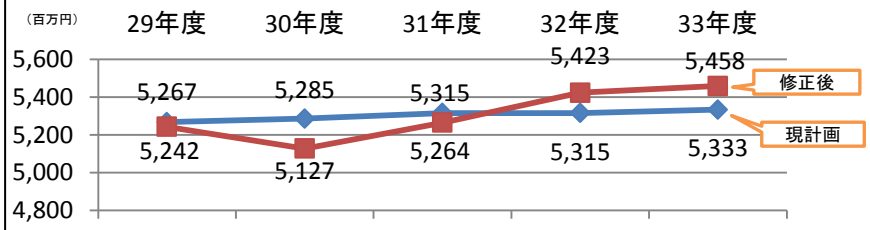
料金収入



H30年度見込みを元に収入を上方修正

- 新たな取組等により、H30は収入の大幅増を見込む。
- H31は引き続き、単価増・患者数増により増収を見込んでいる。
- H32は診療報酬の減額改定を想定し、減収を見込んでいる。

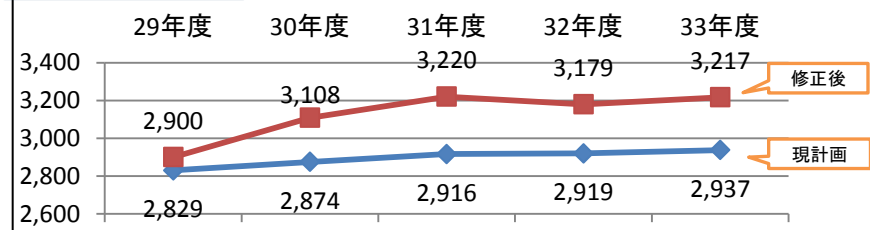
職員給与費



給与削減の効果でH30・H31年度は減少も、H32からは増加

- 給与削減により、H30(効果額▲113)・H31(効果額▲148)は計画よりも下方修正を見込んでいる。
- H32以降は会計年度任用職員の制度開始により、上昇を見込んでいる(嘱託職員分)。

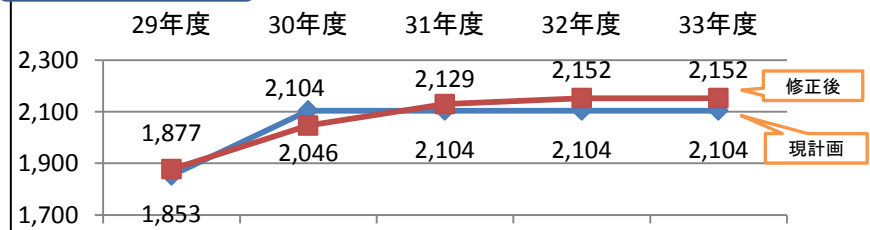
材料費



収入の増加に伴い材料費も上方修正

- 価格交渉やフォーミュラの推進により、一定程度の削減効果を見込むものの、高額薬品の増加や患者数増などにより上方修正

経費

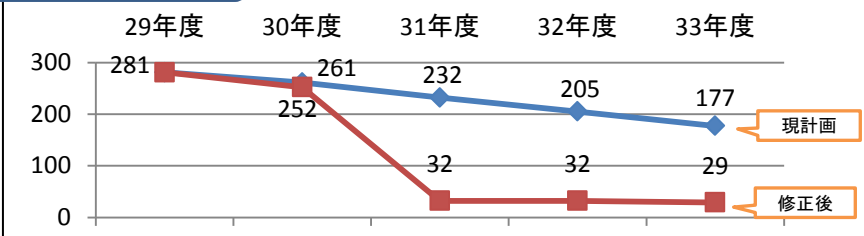


電気やガス等の単価上昇等により水道光熱費が増加

- 電気料等については、節電による使用量の減少や電気供給契約の入札実施等による削減効果はあるものの、原油価格の上昇による単価増の影響額を吸収できず、増加を見込む。
- 会計年度任用職員制度の影響(臨時職員分)もあり。

市立旭川病院 収支計画見直し説明資料②

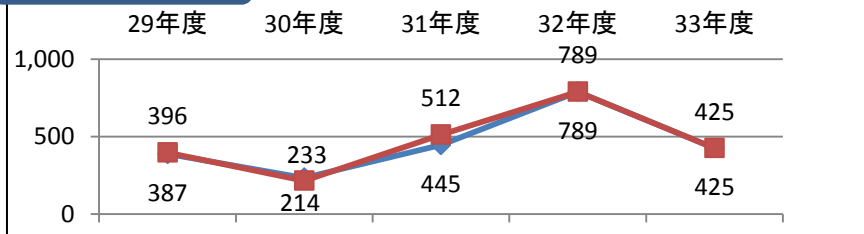
支払利息



企業債(借入金)の借換えの効果により下方修正

- 借換えはH4～H13年度に借り入れた病院建物に係る企業債約96億円を借り換え、経営の負担となっている元利償還額を平準化し、単年度の収支を改善しようとするもの。
- 利率1.6%から4.65%の既往債を低利で借り換えるため、支払利息は減少する見込みである。

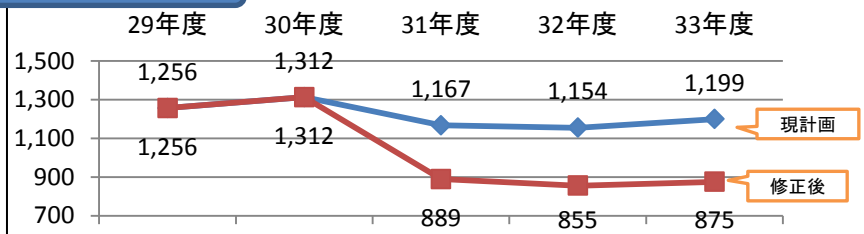
建設改良費



建設改良費(器械及び建物更新費用)は計画から大幅な変更なし

- H30は建物の更新工事を1年繰り延べたため、減少している。
- H31はCT装置を購入する予定となったため、増加している。
- H32は高額な放射線治療機器の購入を予定しているため、増加している。

企業債償還金

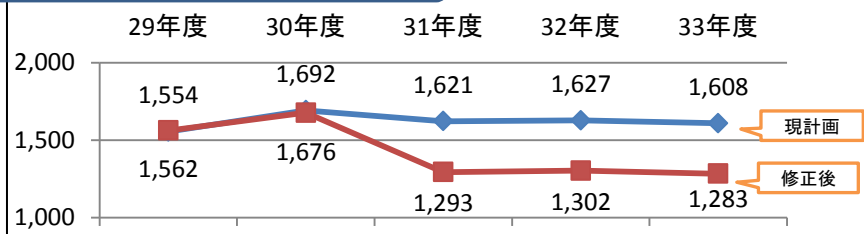


※30年度の借換額は除いているため、収支計画の表と一部一致していない。

支払利息と同様に借換えの効果により下方修正

- H30までは計画どおりに推移。
- H31から企業債の借換えの効果により、減少している。
- 借換えによる効果額は、一般会計からの繰入金も減少するため、元利合計年間で約+1億5,000万円程度を見込んでいる。

一般会計からの繰入金合計



企業債の借換えにより、元利支払金が減少するため、繰入金も減少

- H30は夜間急病センターの運営受託により、前年度より増加。
- 企業債元利償還金の一部を繰入金として受け入れているが、借換えにより減少するため、繰入金も減少している。